

仕事を拒まず、ニッチ市場を拓く

- 納期相談
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



規格外の長尺部品少量製造を得意にする

業務内容
主力は長尺部品の機械加工

昭和60年に玉山和雄社長が一人で創業し、機械加工や組み立て加工など、どんな仕事も拒まずに引き受けてきた。自動車、油圧、建築、工具、機械と顧客の業種はうまく分散されており、最も比率の高い自動車向けも売り上げ全体の15%を占める程度である。現在は金属部品の機械加工が中心で、NC自動車用旋盤を使った直径3mm〜42mmの長尺部品の製造を得意にする。加工する部品の多くは規格に収まらない特殊な形状で、ロット数100〜1万個ほどの受注が多い。少量多品種の仕事は小回り良くこなすことで、量産メーカーが苦手とするニッチ市場を抑えている。

強み
複数工程を「ねばり」で効率化

ロット数は最小で1個からでも引き受けるが、10万個のような大きな数量は引き受けない。特殊形状の部品加工は、ほかの加工業者が敬遠するような長文の加工プログラムを機械に入力し、複数の工程をひとつにまとめることで段取り替えの手間を減らす。玉山社長は「ウチの製品は特殊なモノが多いが、それは裏を返せばほかの業者が嫌がる部品が多いということ」と話す。他社がやりたがらないことをやる「ねばり強さ」を強みとしている。

市場戦略
投げ出さなければ仕事がつながる

チタンやステンレスのSU S430など難削材でも適した工具を探し、投

げ出さずに取り組む。玉山社長の「加工技術をモノにできると、それが継続性のある仕事につながる」という考えに基づくもので、「その結果、特に営業活動はしていなくても、変わった部品の注文がどんどん来る」という。創業時から続けてきた「仕事を拒まない姿勢」が、現在は顧客の信頼に変わっており、少量、規格外のニッチな加工依頼が自然と集まる。その一方、「去る者は追わない」という姿勢を貫く。一つの業種に固執せず、取引先約50社の半数は常に入れ替わる。特定業界の景気に左右されにくく、売上高は現在も増加傾向にある。経常利益率は5%以上を確保している。

今後の展望
エンドユーザーとの出会いを増やして国内を深耕

2年に1度は新しい工作機械を導入して、生産効率や加工品質の向上に取り組んでいる。本社工場がやや手狭なこともあり、現在は東大阪市内の倉庫を活用し、検査工程の充実と出荷体制の効率化などを検討中。人材育成では、従業員が工場内のすべての機械を操作できる「多能工化」に取り組む。工場の生産体制を強化しつつ、社長や玉山英孝主任はエンドユーザーと直接会う機会を増やし、国内市場を深耕する考え。新たに医療分野への参入を目指して大学との連携を始めているほか、将来の自社製品開発も目標に掲げている。



東大阪市内の本社工場

COMPANY PROFILE

株式会社ダイワエンジニアリング

大阪25

ISO 9001

当社の歴史

昭和60年に八尾市で創業、さまざまな業界の部品加工を手がけてきた。平成12年に上場企業との取引開始をきっかけに現社名で法人化し、徐々に業容を拡大した。平成21年に新社屋を建設し、現在地に本社を移転、株式会社化した。

ものづくりの初心を忘れず、今後も新たな分野、目標に常に挑戦する気持ちを持ってお客様のニーズに応えていきたいと思っています。

代表取締役 玉山 和雄さん



■主な事業内容
規格外・多品種・少量の精密金属部品の加工

■主な取引先（納入先）
自動車部品メーカー/建築金物メーカー/油圧部品メーカー/工具メーカーなど

住所 / 〒577-0836 東大阪市渋川町2-1-8
TEL / 06-6730-5977
FAX / 06-6730-5988
創業 / 昭和60年8月
設立 / 平成12年5月
資本金 / 300万円
従業員 / 11名

<http://www.daiwa-engineering.co.jp>